



◆環境課
☎ 587 - 6003
FAX 587 - 3834

☆旧の市指定ごみ袋(シール)は、平成24年3月31日まで使えます!

ごみ収集車での爆発・火災事故が連続発生!

1回目の事故は、北野学区の燃えないごみ収集日(4月6日)に、2回目の事故は、野洲学区の燃えないごみ収集日(4月13日)に発生しました。

いずれも原因は、スプレー缶およびガスライターに残っていたガスが、ごみの積み込みの際に圧縮されて漏れ出し、金属同士の摩擦により引火し燃え出したものと考えられます。

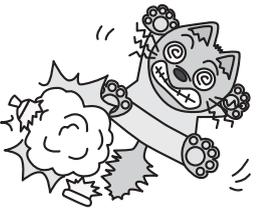
幸い、市民や作業員にけがはなかったものの、場合によっては大事故になっていた可能性があります。

平成17年度以降、このようなごみ収集車での爆発・火災

事故が14件も発生しており、また、クリーンセンターでも8件発生しています。その多くは、カセットガス缶、スプレー缶やガスライターなどが原因と考えられます。

二度とこのような事故を発生させないために、ごみを出すときには「ごみカレンダー」および「ごみ分別名人」により、適正なごみ出しをお願いします。

危険物の排出方法
●ガスライター:必ず中身を使い切るか、ガスを出し切ってから燃えないごみとして出してください。



燃えないごみのカセットガス缶が!



ガス抜きされていないライターやスプレー缶



現場検証の様子

里山・森・里地・里川・びわ湖の「水」フォーラムを開催します!

市内の山からびわ湖にいたる水環境保全の取り組み活動報告会を開催します。水環境に関心がある人は、ぜひご参加ください。

日時...7月2日(土)午後1時~3時30分

会場...コミセンなかさと大ホール

内容...水源の山、森、川、田畑、びわ湖の水環境保全に取り組む市民団体や自治会の活動事例の報告

主催...環境基本計画推進会議里川づくり委員会

参加費...無料※申し込み不要

毎月第4土曜は 廃食用油回収の日

6月25日(土) 午前10時~正午

回収会場: 市役所別館横電話ボックス付近
回収物: 廃食用油、牛乳パック、アルミ缶
問環境課☎ 587 - 6003、エコロジーマーケットやすの会・増村☎ 586 - 1441

歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

(81)

歴史民俗博物館

☎587-4410、Fax587-4413

【6月の休館日】月曜・火曜日

◆野洲駅開業120周年展「鉄道・駅・まち」

／6月26日(日)まで

野洲駅や鉄道、まちのあゆみを資料や写真で紹介。協賛…西日本旅客鉄道(株)京都支社

◆野洲駅開業120周年写真展／6月26日

(日)まで JR野洲駅コンコースにて

◆第3回弥生の森写真展「ふおれすとフォトギャラリー」／6月11日(土)～8月31

日(水) ※作品募集中

◆まちかど博物館「比江を歩く」／6月

25日(土)午後1時30分～

※比江自治会館集合

野洲駅の歴史を語る資料 —野洲駅開業120周年展より—

野洲駅は、東海道線が開通した2年後、1891(明治24)年6月16日に開業しました。当時、草津駅と八幡駅(現・近江八幡駅)の間に新しく誕生した駅で、今月でちょうど120周年を迎えます。今回は、博物館に展示している資料から紹介します。

写真は、野洲駅のホームに掲げられていた駅名標(えきなまひょう)です。木製のしっかりとした作りで、吊り下げる金具も残っています。大きさは縦65cm、横

110cmで、近くで見るとかなり大きく感じます。文字は片面のみに記され、板面を空色、鮮やかな青地に塗り、手書きの白い文字で駅名や矢印を記しています。

横書きの文字が、右から左へ書かれていることから、戦前、1945(昭和20)年以前のものです。また、守山駅は1912(明治45)年、篠原駅は1921(大正10)年に開業しています。このことから、1921年から



野洲駅ホームの駅名標／大正～昭和初期頃

行方面下・阪大・都京 野洲(下)		行方面上・北・東・原 野洲(上)	
二時四十分 交留米	二時	二時	刻行先
四時四十分 山	二時四十分 東	二時四十分 東	刻行先
五時三十分 姫路	二時五十分 東	二時五十分 東	刻行先
五時五十分 大	三時	三時	刻行先
六時三十分 大	三時十分 東	三時十分 東	刻行先
六時五十分 大	三時二十分 東	三時二十分 東	刻行先
七時三十分 大	三時三十分 東	三時三十分 東	刻行先
七時五十分 大	三時四十分 東	三時四十分 東	刻行先
八時三十分 大	三時五十分 東	三時五十分 東	刻行先
九時五十分 大	四時	四時	刻行先
十一時三十分 大	四時十分 東	四時十分 東	刻行先
	四時二十分 東	四時二十分 東	刻行先
	四時三十分 東	四時三十分 東	刻行先
	四時四十分 東	四時四十分 東	刻行先
	四時五十分 東	四時五十分 東	刻行先
	五時	五時	刻行先
	五時十分 東	五時十分 東	刻行先
	五時二十分 東	五時二十分 東	刻行先
	五時三十分 東	五時三十分 東	刻行先
	五時四十分 東	五時四十分 東	刻行先
	五時五十分 東	五時五十分 東	刻行先
	六時	六時	刻行先
	六時十分 東	六時十分 東	刻行先
	六時二十分 東	六時二十分 東	刻行先
	六時三十分 東	六時三十分 東	刻行先
	六時四十分 東	六時四十分 東	刻行先
	六時五十分 東	六時五十分 東	刻行先
	七時	七時	刻行先
	七時十分 東	七時十分 東	刻行先
	七時二十分 東	七時二十分 東	刻行先
	七時三十分 東	七時三十分 東	刻行先
	七時四十分 東	七時四十分 東	刻行先
	七時五十分 東	七時五十分 東	刻行先
	八時	八時	刻行先
	八時十分 東	八時十分 東	刻行先
	八時二十分 東	八時二十分 東	刻行先
	八時三十分 東	八時三十分 東	刻行先
	八時四十分 東	八時四十分 東	刻行先
	八時五十分 東	八時五十分 東	刻行先
	九時	九時	刻行先
	九時十分 東	九時十分 東	刻行先
	九時二十分 東	九時二十分 東	刻行先
	九時三十分 東	九時三十分 東	刻行先
	九時四十分 東	九時四十分 東	刻行先
	九時五十分 東	九時五十分 東	刻行先
	十時	十時	刻行先
	十時十分 東	十時十分 東	刻行先
	十時二十分 東	十時二十分 東	刻行先
	十時三十分 東	十時三十分 東	刻行先
	十時四十分 東	十時四十分 東	刻行先
	十時五十分 東	十時五十分 東	刻行先
	十一時	十一時	刻行先
	十一時十分 東	十一時十分 東	刻行先
	十一時二十分 東	十一時二十分 東	刻行先
	十一時三十分 東	十一時三十分 東	刻行先
	十一時四十分 東	十一時四十分 東	刻行先
	十一時五十分 東	十一時五十分 東	刻行先
	十二時	十二時	刻行先
	十二時十分 東	十二時十分 東	刻行先
	十二時二十分 東	十二時二十分 東	刻行先
	十二時三十分 東	十二時三十分 東	刻行先
	十二時四十分 東	十二時四十分 東	刻行先
	十二時五十分 東	十二時五十分 東	刻行先

1942(昭和17)年の野洲駅時刻表

1945年の間に作られたと考えられます。昭和10年代に駅や鉄道に勤務されていた方は、この駅名標に見覚えがあり、とても懐かしんでおられました。昔の野洲駅の資料はほとんど残っておらず、今となっては貴重なものです。

もう一枚の写真は、1942(昭和17)年の野洲駅の時刻表で、「汽車時間表」[昭和十七年十一月十五日改正]の記があります。広告入りで、縦26・8cm、横37・6cm、B4判ぐらいの貼って見る大きさのものです。

当時は、1日に上り22本(うち1本は野洲行き)、下り21本の汽車が発着していたことがうかがえます。行き先を見ると、東京、名古屋、静岡、青森、新潟行きや、岡山、糸崎、広島、久留米、八代行きもあって、延々と汽車が走っていたことが想い起こされます。

この時刻表の当時の野洲駅は、1938(昭和13)年に改築された2代目の駅舎で、瓦葺きの平屋の建物でした。

その後、1972(昭和47)年に改札を陸橋の上に設けた橋上駅に改修され、現在の3代目の駅舎になっています。1970年代以降には、まちがめまぐるしく発展していくなかで、駅の周辺も大きく変化してきました。

私たちが日々何気なく乗り降りしている野洲駅ですが、この機会に120年の歴史を積み重ねてきた歩みを感じていただければと思います。

(博物館学芸員 行俊勉)